

# 「今こそ教育」教員養成は何を目指すのか

Symposium

## 高野山大学 教育シンポジウム

参加方法  
**参加費無料**

募集定員 200名  
(事前申込制・先着順)  
お申込みは  
高野山大学  
ホームページまで

2020

11/14 (土)

13時30分～16時30分  
(開場 13時より)

会場

河内長野市立文化会館  
(ラブリーホール・小ホール)

※アクセスは裏面をご確認ください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、マスク着用でご来場ください。体調不良や発熱がある場合はご来場をお控えください。その他、入場制限や観覧方法について制限を設けさせて頂く場合がございます。予めご了承をお願い申し上げます。

弘法大師空海は、教育の重要性を深く理解し、

わが国最初の民衆教育機関「綜藝種智院」を設立(828年)した民衆教育の創始者です。

空海を建学の精神とする高野山大学が、満を持して河内長野の地で教員養成に乗り出します。

新型コロナで世界が揺れ動いたこの時、教育の意味と意義を問い直し、

あるべき教員養成の姿を追求するシンポジウムを開催します。



パネリスト

進行

岡本正志  
高野山大学  
特任教授・  
教育学科長  
(予定)

開会の  
あいさつ

添田隆昭  
(高野山学園理事長)



来賓の  
あいさつ

高橋 保  
(千代田学園理事長)  
松本芳孝  
(河内長野市教育長)



基調講演

木村泰子氏  
「今、学校教育に  
関わっているもの」



シンポジウム

現在の教育課題と  
高野山大学の使命



閉会の  
あいさつ

乾 龍仁  
(高野山大学学長)



木村泰子

高野山大学客員教授(予定)  
(元大阪市立大空小学校校長)

<プロフィール>

大阪府生まれ。大阪府立大空小学校初代校長。  
2015年、大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画  
「みんなの学校」が文科省の特別選定作品に。現在は講演活動や  
セミナーで全国各地を飛び回っている。

<教育への想い>

すべての子どもは地域の宝です。「貧困」であろうと「障害」が  
あるとすぐ暴力をふるってしまう子どもであってもすべての  
子どもは未来をつくる「地域の宝」です。コロナ禍で露呈した「差  
別」「排除」「自粛警察」「誹謗中傷」などの根深い日本社会の問題  
を問い直すことが求められています。学校が変われば地域が  
変わる 地域が変われば社会が変わります。価値観や行動様式  
の違いを互いに受け入れ、すべての人が自分らしく生きることが  
できる多様性社会をつくるために「教育」があります。子  
どもにとって「先生」の存在はかけがえのないものです。異な  
ったものを排除せず、共存できるための柔軟な対応力をつけた「先  
生」が子どもたちの目の前に存在することを願ってやみません。



帯野久美子

高野山大学特任教授(予定)  
(元文部科学省大学設置審議会委員・元和歌山大学副学長)

<プロフィール>

追手門学院大学文学部社会学科卒業、  
甲南女子大学大学院文学研究科博士前期課程社会学専攻在籍を経て、  
株式会社インターアクト・ジャパン設立、代表取締役を務める。

<教育への想い>

時代が大きく変わろうとする今、企業にも大学にも「何のために存在するのか」、ミッションを明らかにする  
ことが求められています。134年の歴史を有する高野山大学の根底に流れているのは、弘法大師の教えです。  
真言密教は奥深く、たやすく理解できるものではありませんが、その原点は、人を慈しみ、人を幸せにする  
ことにあるはず。そして、それを伝えるのは、大学に働く教員、職員で、一人ひとりが、お大師様の思  
いを胸に、日々、愛情を持って学生に接する事にあると思います。その学生たちがやがて社会に巣立ち、大  
学で触れた優しさを思い出し、それを次の世代に伝えていってくれたら…その先に、きっと新しい時代の幸  
せが待っていることを、固く信じています。



岡部美香

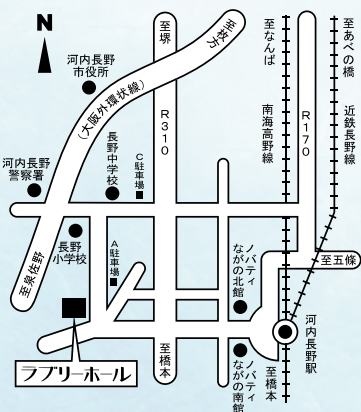
大阪大学大学院人間科学研究科教授・高野山大学非常勤講師(予定)

<プロフィール>

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。  
愛媛大学教育学部、京都教育大学を経て、現在、大阪大学大学院人間科学研究科教授。  
大阪府教育委員。大阪大学教育実習等専門部会会長。

<教育への想い>

コロナ禍のもと、私たちは<sup>みぞう</sup>未曾有の経験をしている、とよく言われます。ですが、人が生きるということ自体が、  
そもそも<sup>いま、かつ</sup>未だかつて有りはしなかった、何が起こるかかわからない「未来」という時間に一歩ずつ進んでいく  
経験なのではないでしょうか。いつの時代、どこに生きていても、私たちは皆、確実ににはわからない未来に向かっ  
て生きていくしかないので。では、私たちは、そうしたわからない未来に向かって生きるのに必要な能力  
を子どもたちに保障しているでしょうか。実際のところ、子どもたちに対して(先取的に)わかることの  
価値ばかり強調してはいないでしょうか。わかる努力はもちろんきちんとしながらも、一方で、人智・人力  
を超えた訳のわからないものごとに適切に向き合うことのできる子どもたちを育てるにはどうしたらよいの  
かを、これからの教育の課題として考えたいと思っています。



**会場**  
ラプリーホール  
(河内長野市立文化会館)  
小ホール  
〒586-0016  
大阪府河内長野市  
西代町12-46  
<https://lovelyhall.com>

◀ 河内長野駅より  
徒歩約7分

お問い合わせ

高野山大学 教育学科設置準備室(事務局)  
河内長野キャンパス(大阪千代田短期大学キャンパス内)  
〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町 1685  
TEL 0721-53-1101  
E-mail : kyoiku@koyasan-u.ac.jp

お申込み方法

(※申込締切 10/28)

下記ホームページからお申込みください。  
<https://www.koyasan-u.ac.jp>

お申込み方法等についてお困りのことやご不明の点などございましたら、  
上記事務局までお問い合わせください(TELまたはメール)。